

「ちいちゃんのかげおくり」 本時の目標：話し合いを通して、4場面のちいちゃんは幸せだったのかについて自分の考えをまとめることができる。

ちいちゃんは幸せだ

(ちいちゃんについて)

- ・「なあんだ。みんな、こんな所にいたから、来なかったのね。」
- ・きらきら笑いだしました。
- ・わらいながら、花ばたけの中を走りだしました。

(情景描写)

- ・空色の花ばたけ
- ・向こうから、お父さんとお母さんとお兄ちゃんがわらいながら歩いてくる

[予想される児童の意見]

- ◎ひとりぼっちだったちいちゃんが、やっと家族に会えたから幸せだと思う。
- ◎きらきら笑い出して、とても幸せそう。
- ◎家族も笑っているから、きっとちいちゃんも幸せだと思う。

ちいちゃんは幸せではない

(ちいちゃんについて)

- ・ちいちゃんは、ひとりぼっちになりました。
- ・ちいちゃんは、ふらふらする足をふみしめて立ち上がると、
- ・たった一つのかげぼうしを見つめながら、
- ・暑いような寒いような気がしました。
- ・ひどくのどがかわいています。
- ・体がすっとすきとおって
- ・おなかがすいて軽くなった。

(情景描写)

- ・お父さんの声が、青い空からふってきました。
- ・広い空は、楽しい所ではなく、とてもこわいところになりました。
- ・町の様子は、すっかりかわっています。

[予想される児童の意見]

- ◎ひとりぼっちになってしまったから、ちいちゃんは幸せではない。
- ◎きっとちいちゃんは死んでしまった。だから、幸せではない。

小金色の深い学び

〈児童の質問〉

- ・なぜ、ちいちゃんが笑っていたら幸せなのですか？
- ・ちいちゃんは、最後に家族とかげおくりができたのに、なぜ幸せじゃないのですか？

主題に迫る教師の発問

☆ちいちゃんは、なぜ一人ぼっちになってしまったのかな？

ふりかえり

【B 評価】

☆話し合いを通して、自分の考えとの違いに気づいたり、共感したりしたことを表現することができる。

【A 評価】

☆話し合いを通して、自分の考えが変容したことや、深まったことを表現することができる。